

2019. SEPTEMBER

広報 JAだてし

収穫間近の水稲



発行 伊達市農業協同組合（営農生産部編集）

〒052-8666 伊達市末永町 74 Tel.0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp

<http://www.ja-dateshi.or.jp>

JA 伊達市

検索



NO.623

Japan Agricultural cooperatives

主な内容

高糖度トマトグループ東京視察へ
青年部地域貢献活動
軽減税率制度説明会
農業散布用ドローン実演会 その他

9月号

今月号のトピックス

高糖度トマトグループ東京視察へ

8月19日(月)～20日
 (火)に、東京都(大田市場・都内百貨店)に

てJA伊達市高糖度トマトグループ(佐藤秀徳会長)は市場関係者とのミーティングと都内販売店の視察を行いました。

市場関係者とのミーティングでは道内各産地共に高温の影響を受け糖度が上がらず安定した出荷ができていないた



め安定した供給とブランド力の強化を目標に、出荷量増加の要望を受けました。また、新宿・上野の大手百

貨店5か所の売り場視察を行い、他産地の価格や品質、販売状況を調査しました。他産地との競合のなか、伊達産の高糖度トマトの売れ行きは好調であり、今後も販売強化を継続していくこととしています。高糖度トマトは道内での販売はしておらず、関東を中心に販売を展開しています。高度な生産技術を要することから、生産者は11戸と少ないですが、伊達野菜ブランド化事業を伊達市と協力して行っています。

伊達産トマト「藤五郎」出荷ピーク

JA伊達市トマト選果場では振興作物に指定している大玉トマトの出荷が8月中旬にピークを迎えました。

「藤五郎」としてブランド化している大玉トマトは主にトマト部会員によって生産されており、センサーによって大きさや形状を自動判別し、箱詰めされており、道内市場を中心に全国に出荷しています。

伊達市内のトマトの生産は44戸約8haで650トン。売上は昨年並みの2億超える見通しで、今後はさらに生産量の増加を図っていく方針です。

また、選別時に出た規格外品はJA伊達市特産のトマトジュース「トマトの果実」として加工され、くみあいマーケット本店などで販売されています。



青年部地域貢献活動



8月4日(日)にくみあいマーケット駐車場にて、伊達市農協青年部(坂元博行部長)は、JA地域貢献委員会と

共同で伊達市の一大イベント「伊達武者まつり」の武者行列に参加した280名への給水活動に取り組みました。

当日は快晴で気温も高い猛暑の中、武者行列の疲れを癒すため給水を行いました。青年部長の坂元博行さんは「こうした活動を継続的に行って少しでも地域に貢献していきたい」と

たい。伝
 統行事
 を支え
 伊達市
 を盛り
 上げて
 いきた
 い」と農

業分野以外でも活躍できる意欲を語っていました。

青年部では今後も地域の方々との交流を通して、農業のみならず様々な形で地域に貢献していきたいと思いを



伊達市功労表彰式

8月23日(金)にホテルローヤルにて佐藤哲組合長は2019年度伊達市表彰の産業経済功労を受けました。

功労表彰は長年にわたり伊達市の発展に尽力した15名と1企業(菊谷秀吉市長から贈られ、佐藤組合長は代表理事組合長を12年務めていることから選出されました。

27年務
 めた稀
 府地区
 の穴戸
 修一さ
 んと30
 年務め
 た有珠
 地区の広瀬英俊さんが受章し



防災功労では伊達消防団を

軽減税率制度説明会

8月30日(金)にJA伊達市本所にて伊達市農業青色申告会(篠原寿会長)は札幌市の税理士法人松井晃事務所の土田昌司税理士を講師に迎え軽減税率制度説明会を開催しました。

青色申告会の会員30名と職員9名が参加した講習会は10月からの消費税10%への引き



上げと軽減税率制度導入の対象品目や、税別の帳簿作成(現

農薬散布用ドローン実演会

8月27日(火)に館山地区の圃場で当JAと伊達地区国営緊急農地再編整備事業促進期成会の共催で農業用ドローンのデモ飛行実演会を実施しました。好天に恵まれ、好条件での実演会となり、生産者26名と関係機関17名の計43名が参加し、(株)コハタの協力のもと今回はデモ飛行のため薬剤の代わりに水を散布し、バッテリー交換、薬剤の補充方法など一連の流れを実演しました。ドローンの性能は薬剤タンク容量



10リットルの1つのバッテリーで1haを約10分で散布出来ます。実演終了後には資格取得費用や機材等の経費、ドローンの実用性、今後の展開や細かい設定などの使用方法の説明を行いました。上長和地区の栗橋勝利さんは「農薬散布等の時間削減が

行の8%、10月からの軽減税率8%・標準税率10%区分記載請求書の記載例、2020年分から適用される青色申告特別控除額の変更など新たな税制改正の主なポイントを説明しました。税に対する様々な知識を定着させ、今後の営農に役立てると共に、複雑化した確定申告の準備を進めていきましょ

う。期待できるため、将来に向けてドローンの導入を検討したい」とスマート農業化に意欲を示していました。



農薬散布用ドローン(MG-1)教習のご案内

◎11月18日(月)~22日(金) 5日間 先着3名

◎11月25日(月)~29日(金) 5日間 先着6名

上記の日程でJA伊達市グリーンセンター及び伊達市内にて教習を予定しています。

- ▶教習依頼先 (株)コハタ
- ▶教習料 5日間 270,000円(税別)
- ▶教習時間 9:00~17:00
- ▶必要書類

- ・入校申込書
- ・運転免許証のコピー(両面)
- ・受講料(入校時まで現金振込)

※「産業用無人ヘリコプター」又は「他社の産業用マルチローターの技能認定証」所持者の方は申請時に申し出てください。

※MG-1限定の免許で免許取得後に機体の購入が可能となりますので詳細につきましては下記問い合わせ先までお願いします。

問い合わせ・申し込み先

JA伊達市 営農指導課 (TEL: 0142-23-2181)
生産資材課 (TEL: 0142-23-6115)

年益友の会

8月3日(土)にだて歴史の杜ゲートボール場にて年金友の会会長杯ゲートボール大会が開催されました。

ゲートボール会長杯

当日は、日差しが照りつける猛暑の中、11名の参加者が3チームにわかれて対戦。みなさん暑さに負けず元気よくプレーしていました。結果は以下の通りとなっています。



- | | |
|------------|-------------------------|
| 優勝 チーム(ロ) | 篠原 裕治、加藤 恵一、 |
| 準優勝 チーム(イ) | 平泉 国子、東海林 綾子 |
| 3位 チーム(ハ) | 東海林 信雄、堀 智博、伊藤 喜枝、加藤 イツ |
| 3位 チーム(エ) | 太田 智、大友 未子、星 くるよ |

【巡回健診のご案内】

年に1度健診を受け、健康状態を確認し、成人病等の予防・早期発見に努めましょう。

◎日 程

伊達市・・・令和1年11月26日(火)
～11月28日(木)
登別市・・・令和1年11月29日(金)

◎場 所

伊達市・・・J A伊達市2階 会議室
登別市・・・鉄南ふれあいセンター
(登別市幌別町3丁目17番地1)

◎対 象 者

正組合員及びその家族の方で**30歳以上**の方

◎申込期日

令和1年9月30日(月)まで

◎申 込 先

J A伊達市営農指導課
TEL:0142-23-2181(内線292)
登別支所
TEL:0143-85-3151

※受診料・健診内容の詳細は8月配送の農協だよりにて同封しました文書を参照または営農指導課へお問合せ下さい。



有害鳥獣駆除

支援対策費支給について

- ・新規銃器取得費助成
- ・止め差し弾費助成

◎対 象 者

J A伊達市正組合員及びその同居する家族

◎対象条件

- ①上記に該当する者で新規銃器取得者かつ有害鳥獣駆除と止め差しに協力できる者
- ②上記に該当する者で有害鳥獣駆除動物を捕獲し、止め差しを行った者が使用した弾費

◎助成金額

- ①新規銃器取得者は**取得金額の1/2**または**15万円**のいずれか少ない方とする
- ②止め差し弾費は**1頭1発限り500円**とする

※申請書類等は下記までお問い合わせください。



《問い合わせ》

伊達市農業協同組合
営農指導課 農業振興係
TEL:0142-23-2181(内線292)
FAX:0142-23-3174

JA の家庭雑誌

お申し込み受付中

あなたの元気が
わたしの元気

家の光

- 普通月号
税込 **617** 円
- 付録月号
(1・4・5・7・9月号)
税込 **906** 円
- 付録月号
(家計簿付12月号)
税込 **1,008** 円

「必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も」

北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されます。

最低賃金額 時間額 **861** 円

効力発生年月日 令和 **1**年**10**月**3**日

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介し
ます。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧
ください。

J A北海道 中央会



7月31日にJ A北海道中央
会と各連合会の役員にて、吉
川農林水産大臣を含む農林水
産省幹部職員及び道内選出与
党国会議員等に対して、令和
2年度国費予算概算要求に向
けた要請運動を実施いたしま
した。

「持続可能な北海道農業の
確立に向けた政策提案」に基
づき、農業予算
の万全な確保加
え、国際貿易協
定・交渉対策
や労働力確保
対策に向けた支
援強化、各作



物の需給安定対策の構築等を
要請しました。

また「食料・農業・農村基
本計画」と「酪農及び肉用牛
生産の近代化を図るための基
本方針」、「経営所得安定対策
の交付単価」の見直しに向け
ては、家族経営基盤の維持強
化の視点や生産現場の実態を
踏まえた議論を進めるよう要
望しました。

引き続き、J Aグループ北
海道の政策提案の実現と日米
貿易協定交渉については、「農
業経営や生産基盤に影響がで
ないよう適切な国境措置の確
保」、「北海道農業を犠牲とし
ない毅然とした対応」を政
府・与党に求め、今後も北海
道の農家・組合員が安心して

営農できるよう取り組んで参
ります。

J A北海道 信連



地元プロ野球
チーム・ファイ
ターズのスポ
ンサーイベン
トデーとして、7
月19日、J Aバンク北海道スベ
シャルナイターを札幌ドーム
で開催しました。本イベン
トは、昨年に引き続き2回目にな
ります。



今回は、新たにJ A特産品
の物販コーナーを設けた他参
加J Aの女性職員から対戦
チーム両監督への花束贈呈を
行いました。

また、中央会などとも連携
して、サポーターづくりに向
けたPRを実施しました。

ホクレン



ホクレンと北海道日本ハム
ファイターズが連携して、同球



J A共済では、これからも
「3Q訪問活動」と「あんしん
チエック(保障点検活動)」の実
践を通じて、組合員・地域利
用者の信頼と期待に応え、「安
心」と「満足」の提供に努めて
まいります。

団の発信力を
生かして北海
道農業の魅力
を伝える「北海
道農業応援ブ
ロジェクト」の取り組みが6月
28日より開始しました。
その一環として、7月13日
に同球団マスコットの「ポ
リー」と「B☆B」が、ホクレン
食と農のふれあいファーム「く
るるの杜」にて、窯焼きピザを
調理する体験イベントを開催
し、消費者との交流を深めな
がら北海道産農産物のPRを
しました。

J A共済連 北海道



7月18日に札幌・共済ホー
ルにて「全道LA・スマサポ大
会」が開催され、平成30年度
普及活動で優秀な成績を収め
られたLA 33名
とスマイルサ
ポーター11名が
登壇し表彰さ
れました。



組合員ならびに地域住民の
皆様の生命と健康を守るため
本会事業の積極的な啓蒙推
進を図ることを目的として、広
報誌「すまいる」を発行して
おります。

J A北海道 厚生連



このたび紙面をリニューアル
し、より読みやすささらに健
康に役立つ医療・健康情報を発
信しております。

ホームページにも
バックナンバーを掲
載しておりますので
是非一読く
ださい。





令和元年7月31日付け
 上野 一郎 総務部
 総務課管理係

退職
 されました



農産課からのお知らせ

麦乾施設精米業務日程のお知らせ

麦乾施設の精米業務につきまして**9月より土曜日の精米業務を再開**いたします。
 また、日曜・祝日は引き続き休業させていただきます。
 何卒、ご理解お願いいたします。

◎問合せ先(農産課)
 本所 TEL 0142-23-2181(内線271)
 麦乾施設 TEL 0142-23-2458

伊達市土づくり推進協議会よりお知らせ

土の状態を把握していますか?長年の経験や施肥管理をしているだけでは土の状態は把握できません!定期的な土壌分析で土を数値化してみませんか?

1検体あたり

◎洞爺湖町農業研修センター
 基本分析
2,000円(熱抽出窒素はプラス500円)

◎ホクレン苫小牧支所
 基本分析
2,160円(微量要素等はプラス540円~)

※基本分析項目が若干異なります。

農と食の総合雑誌

地上

GOOD EARTH

お申し込みは JA へ

定価(税込み)/普通月号
 ……606円
 付録付号(5・11月号)
 ……668円

理事会のうごき

第35回理事会…令和元年8月31日出

- ▶クミカン供給限度額及び貸越極度額の変更に
 ついて
- ▶新規就農予定者に対する購買未収金の取扱い
 について
- ▶第1・四半期自己監査回答(案)について

未来を変える。
 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業
 「伊達地区」 Vol.25

令和元年度(平成31年度)
 伊達地区国営緊急農地再編整備事業
 促進期成会 第2回役員会を開催

8月26日(月)、市民活動センターで今年度2回目の促進期成会役員会を開催しました。

国営事業採択後を見据えて、事前に換地に関する知識を深めることを目的に、期成会内に「換地検討部会」を設立すること等について審議を行い、承認されました。

また、国有地を農地として利用している場合の取り扱いや、畑地域における排水路整備の基本的な考え方等について報告しました。詳細については今後、地区説明会等を通して、お知らせする予定です。

今後とも受益者の皆様のご協力をお願いいたします。



◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業
 促進期成会事務局
 (伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内
 Tel.0142-82-3201(直通))